

「町中訪問シリーズ」その2 池田町観光協会

シリーズ第2回目は、池田町を近隣はもとより全国に紹介し、観光宣伝事業発展の要となっている、池田町観光協会です。事務局の内山美恵さんにお話を伺いました。

記者「協会はいつごろ作られて、その組織と主な事業内容をお聞きますか。」

内山「設立は昭和62年ですから、35年ほどになります。会員は現在124名で会長は矢崎昭和さん（矢崎新聞）です。「観光資源の健全な育成・保護・拡充・研究」「観光客の誘致・宣伝」「観光施設の整備・拡充」などです。会費もいただき毎年総会も開いています。」

記者「人気のイベントは何ですか。」

内山「どれも評判はいいです。」



池田町観光協会

が、特に13回を数える「北アルプス展望ウォーク」は2日間で400人以上の方が参加していただいています。

池田町から見る北アルプスが一番と云われますが、そのアルプスを眺望しながら3コースで歩きます。中でもガイドが付くコースが人気です。ガイドマスター会の皆さんが、親切丁寧なガイドをして下さるからです。

記者「そのガイドマスター会について伺います。」

内山「ガイドマスター会は、池田町の観光事業に参画していただいているボランティア団体です。現在47名の方が会員登録しています。活動は観光協会の主催する全てのイベントの裏方ス



タッフ、ガイドを担当していただいています。旅行会社や他自治体からの見学などにも対応してもらっています。

5月連休と8月お盆期間にハープセンターで観光案内所を開設しています。ガイドマスター会が協力・協同していただいているから、池田町の観光イベントが出来ると思っています。

記者「今後の課題は何でしょうか。」

内山「観光パンフ・チラシなどは協会が企画し、発行しています。別掲のパンフ「ぐるっ」といけだまち一周」は、食事処、宿泊、おみやげ、見どころなどを網羅した観光案内で池田町が良く分かれると評判が

いいです。絵手紙サークルの協力で創られたものです。さらに工夫して発行していきたいです。

観光で訪れた方がリピーターになり、そして移住・定住してもらえるような取り組みにしたいです。また、観光が花とハープという池田町の特産品開発・宣伝にも役だてればいいと思っています。

記者「池田町限定のお弁当デリバリーサービスについて。」

内山「新型コロナウイルス禍で苦境になっている、池田町の飲食業16店と協力して、「ぐるっと池田町中ランチ・いけ弁」を

展開しています。

お客様はメニューからお弁当を選んで、観光協会に電話で注文します。協会は飲食店に発注しお弁当を受け取り、配達し代金も受け取ります。5月から12月までに9千50個のお弁当をお届けしました。春グルメの新メニューを準備中です。

外出自粛など、不安で自由な生活を送られている町民のみなさん、勤労者の皆さんと飲食店をつなぐ取り組みとして、町・観光協会・商工会が連携して行っています。

記者「ありがとうございます。」

超簡単レシピ

ツナとコーンのライス 1人分

材料

A
ごはん 200g
コーン缶（汁を切る） 1/2缶（70g）
ツナ缶（油を切る） 1/2缶（40g）
顆粒コンソメ 小1
黒こしょう 少し

B
醤油 小1
小ネギ 少し
バター 小1

1. 耐熱容器にAを入れ、ラップをして600wのレンジで2分暖める
2. 器に盛り、バターをのせ。最後にBを回しかける

部内資料

発行責任者	太田 勲	(62-5727)
議員連絡先	薄井 孝彦	(62-5093)
	服部 久子	(62-4357)
編集責任者	山本 久子	(61-1066)

参院選県区補選 4月25日投票

市民と野党の統一候補 羽田次郎氏擁立へ

県区選出の羽田雄一郎参院議員が昨年末に急逝しました。

新型コロナウイルスの疑いがあるながら、何日も検査が出来ずようやく病院に行く途中、容態が急変しました。本当に残念としか言いようがありません。

羽田議員は2019年の参院選で、市民と野党の統一候補として選挙戦をたたかい、自民候補の小松裕氏に14万票の大差で完勝しました。

「野党共闘をさらに進める大北懇談会」は2016年参院選においては、統一候補の杉尾秀哉さんの勝利をめざし、市民にアピールする目的で、軽トラ100台パレードを実施するなど積極的に取り組みました。

今回の補選について、長野県の市民団体をまとめている「信州市民アクション」は、次の項目を柱とする政策協定を羽田議員の弟である羽田次郎さんと締結

て擁立する方向で協議しています。

①新型コロナウイルス感染症の収束に向け、国民の命と健康、暮らしを最優先にした政策をすすめます。

②立憲主義を回復させ民主主義を再生、憲法9条改定に反対します。政治に透明性と公正を取り戻します。

③社会・経済政策は、市場重視の新自由主義から転換し、社会保障による再分配政策によって、格差是正と貧困対策を強めます。

④東京一極集中の集権型社会を変え、地方分権社会に転換します。

⑤ジェンダー平等、LGBTs

文芸欄

今月は川柳です

- 森辞任 テレビ見ながら「飯まだか」 徳子
- 自粛して 三密さけてコロナフレイル 幸代
- 渋沢さん お顔を見ずにキャッシュレス みき子
- スガさんよ 強権自慢は 野球だけ 邦夫



コラム 有明

安倍前首相の官房長官を8年も務め、政権を補佐してきた菅首相は、「アベ政治継承」を掲げています。安倍首相・昭恵夫人の関与で財務省が動き、国有地を格安で払い下げさせた事案を、菅首相は継承するようです▼首相が総務大臣の時、大臣秘書官に長男を任命しました。以来総務省幹部と深い交流を築いてきたようです。長男は現在総務省が管轄する衛星放送関連会社に勤務し、放送免許更新時を中心に、総務省幹部4人を延べ12回接待し、タクシー券、贈答品を送りました▼総務省は放送事業の許認可を持つ所管省庁です。菅首相は国会で「長男は別人格」「会社の一員」などと言い逃れています。首相の長男だからこそ接待に応じたことは、疑う余地はありません。長男が勤める関連会社から、菅首相が代表の政党支部に、判明しただけで400万円の献金が行われていました▼家族ぐるみで地位を利用して事を有利に進める行為は、前政権を踏襲するもので早晚破綻しそうです。